

飢餓・栄養失調の子どもたちのために — “スピルリナプロジェクト” への参画



アフリカの子どもたち

写真提供：アライアンス・フォーラム財団

DIC (株) コーポレートコミュニケーション部
部長 永井 寛

DIC グループは 2007 年度から CSR を経営に取り入れており、地球温暖化や深刻化する資源問題など、変化する社会の要請を的確にとらえて、ステークホルダーが DIC グループに期待する価値を提供することに努めている。また経営ビジョン「Color & Comfort by Chemistry」（化学で彩りと快適を提案する）により、色彩の文化と快適な暮らしの向上に貢献するための事業活動や、文化、地域・社会の領域における社会貢献活動に取り組んでいる。

理想食材スピルリナを届けたい

途上国で暮らす人々は、先進国からの支援物資が「炭水化物」の多い食品が中心であるため、不足がちな「たんぱく質」を摂取する必要がある。たんぱく質は、体のほとんどの器官を構成する上で、子どもの成長、特に脳の育成に非常に重要な成分である。また免疫力の維持にも重要な役割があると言われている。その意味で、アフリカのような過酷な環境の中でも

栽培が可能で、少ない質量の中に多くのたんぱく質を含むスピルリナは理想的な食材である。

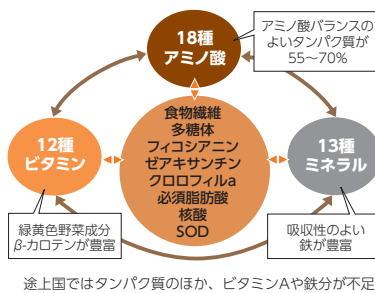
DIC グループは、食用藍藻類スピルリナ^{*注1}の研究・応用・生産を 30 年にわたり培ってきた、世界最大のサプライヤーである。スピルリナは、世界保健機関（WHO）や国連工業開発機関（UNIDO）から理想的な栄養補助食品として評価されており、1991 年にはチェルノブイリ原発事故で被災した子どもたちに、また 1993 年にはボスニア難民への支援としてクロアチアの病院に無償で提供した。

そして本年 6 月、DIC グループはその経験・知見を発展途上国における深刻な栄養不良による飢餓問題の解決に役立てるため、国連の認可団体（IIMSAM イムサム^{*注2}）が主導し、民間 NGO のアライアンス・フォーラム財団がスタートさせた「スピルリナプロジェクト」への支援を開始した。

同プロジェクトでは、栄養価の高いスピルリナを、現地の人々に直接手渡すなどスピルリナの普及と啓蒙をおこない、途上国の栄養不良や飢餓

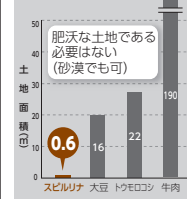
なぜ、「スピルリナプロジェクト」なのか

1. 食品としての優索性



2. タンパク質生産の効率

タンパク質1kgの生産に必要な土地面積



タンパク質1kgの生産に必要な水量



砂漠化が進み灌水困難な土地でも、スピルリナなら生産が可能

などの問題解決を目指している。このプロジェクトを推進するアライアンス・フォーラム財団を通じ、DIC グループはスピルリナに関する技術や資金を提供している。

現在、最初の支援先として決定しているザンビア共和国（アフリカ）の農業省より、今後スピルリナの輸入許可が下りた段階で、同国保健省との折衝により配給対象、配給方法など具体的な支援方法が協議され、同国政府の栄養不良改善プログラムに組み込まれる見込みとなっている。

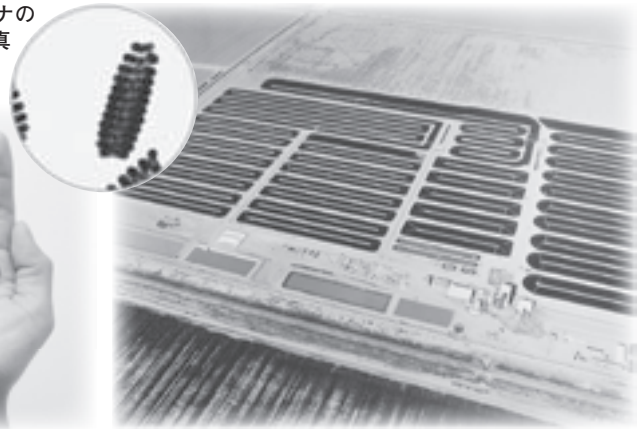
*注1：幅 5-8 μm 、長さ 300-500 μm ほどの「らせん形」をした濃緑色の食用微細藻類。古来アフリカや中南米の湖に自生する熱帯性の藻類で、古くから人々の貴重な食糧源として利用されてきた。

*注2：国連食糧農業機関（FAO）は「世界食糧安全保障に関するローマ宣言（全世界で 8 億人にのぼる栄養不足人口を 2015 年までに半減させる）」の目標を採択している。IIMSAM（Intergovernmental Institution for the Use of Micro-algae Spirulina against Malnutrition）は、このような深刻な栄養不足問題を解決する手段の一つとしてのスピルリナに焦点を絞った、ユニークな国連認可団体。

スピルリナの顕微鏡写真



スピルリナのタブレット



DIC グループの米国カリフォルニア州の巨大な培養施設

さまざまなスピルリナ商品を販売しているが、粒剤タイプは携帯できることから「歩く緑黄色野菜」と呼ばれるほどである。

DIC グループでは、同社を通じて、地域社会との交流や児童教育への貢献を目的として、スピルリナを使った食育教室プログラムを制作し、2010 年 6 月 1 日に東京都中央区立阪本小学校において食育授業をおこなった。

同プログラムでは、児童たちはさまざまな菓子類を彩る天然色素について学習し、青色の天然色素として用いられるスピルリナを顕微鏡で観察して、ミクロの世界におけるユニークな形状や色彩を確認した。さらに、約 30 億年前に地球上に最初に出現した生物がスピルリナなどの藍藻類であったという誕生や自生地に関する話、含まれる驚くほどの栄養素など、スピルリナの魅力や不思議について楽しく学んでもらった。また、DIC グループが支援する「スピルリナプロジェクト」や宇宙での活用の可能性についても紹介することで、児童に「食」に対する関心と探究心を持ってもらった。

DIC グループでは今後もこうした取り組みを継続推進し、地域社会との交流、児童教育への貢献を進めていきたいと考えている。

食育授業で児童の関心と呼ぶ

スピルリナは 55 ~ 70% がたんぱく質だが、ビタミン類も豊富で、緑黄色野菜の各種栄養素など 50 種以上の健康・栄養成分をマルチに含有している。スピルリナ加工食品の製造・販売をしている 100% 子会社の DIC ライフテック(株)では、粒剤のサプリメントや粉末・飲用タイプ、料理用など



食育風景

◆ DIC グループの CSR

<http://www.dic.co.jp/csr/index/html>

◆ DIC ライフテック(株)ホームページ

<http://www.dlt-spl.co.jp/>